

都市再生整備計画 事後評価シート
新幹線新青森駅・青森駅周辺地区

平成23年3月

青森県青森市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	青森県	市町村名	青森市	地区名	新幹線新青森駅・青森駅周辺地区			面積	278ha
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	9,303百万円	国費率	0.4		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		地域生活基盤施設(広場)、高質空間(緑化施設等)、高次都市施設(観光交流センター、地域交流センター)						
	提案事業		区画整理促進(公共用地取得)、展示・便益施設(文化観光交流施設合築)						
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	新たに追加した事業		基幹事業 道路(3路線) 地域生活基盤施設(情報版 まちなか散策コースサイン整備) 高次都市施設(地域交流センター 市民ホール)	駅前広場及び文化観光交流施設と一体的な整備を行うため 中心市街地地区の回遊性を向上させるため ばるるプラザ閉館に伴う交流機能の低下を防ぐため			まちづくりの目標達成に向け、プラスの影響があるが、数値目標は据え置く。		
提案事業		中心市街地にぎわいプラス資金融資便益施設(市民ホール内)	民間主体による魅力づくりの促進を図るため ホール付帯の飲食等サービス施設の活用を図るため			まちづくりの目標達成に向け、プラスの影響があるが、数値目標は据え置く。			
交付期間の変更		当初	平成18年度～22年度		変更		-		
				交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-			

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
指標1	中心市街地の歩行者通行量	人/日	59,090	H17	76,000	H22	54,320	62,000	あり なし	観光集客魅力、交通利便性、回遊性の向上が図られ、更には各事業の相乗効果により交流人口・来街者の滞留時間の増加が見込まれ、歩行者交通量の増加が期待できる。	平成23年8月
指標2	観光レクリエーション客入込数	万人/年	510	H16	663	H22	-	663	あり なし	観光集客魅力、情報発信機能、交通利便性の向上が図られ、各事業の相乗効果により、本市を訪れる交流人口の増加が期待できる。	平成24年11月
指標3	新青森駅・青森駅の乗降客数	万人/年	620	H16	672	H22	-	672	あり なし	観光集客魅力、案内機能、交通利便性の向上が図られ、交流人口・地区住民利用の増加が見込まれ、各事業の相乗効果により、乗降客数の増加が期待できる。	平成24年7月



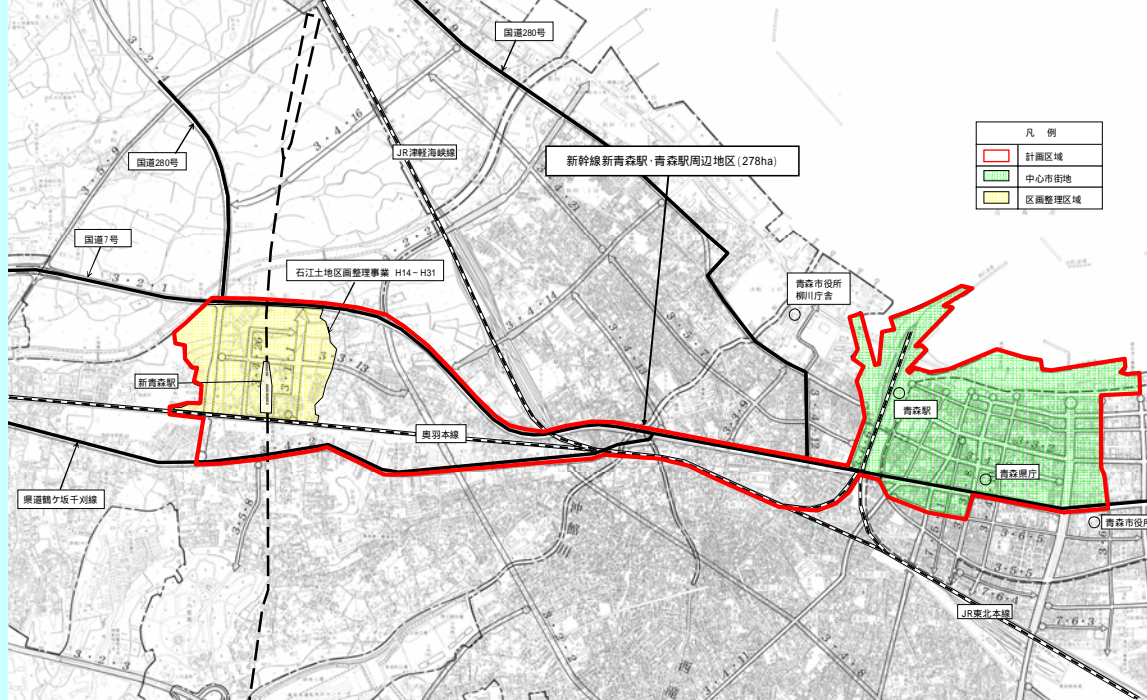


3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
その他の数値指標1	青森駅周辺地区の年間主要観光施設入込客数	人/年	696,312	H17	/	/	700,087	780,000	/	観光集客魅力、情報発信機能の向上が図られ、各事業の相乗効果により、地区を訪れる交流人口の増加が見込まれ、観光入込客数の増加が期待できる。	平成24年11月
その他の数値指標2	新青森駅周辺地区住民の都市環境に関する満足度	%	27.7	H17	/	/	23.6	39.1	/	案内機能・交通環境の整備や、良好な景観形成等により、地区住民の利便性・快適性の向上が見込まれ、満足度の向上が期待できる。	平成23年9月

4) 定性的な効果発現状況

- 青森駅周辺整備の進捗に伴い、民間サイドにおける魅力づくり(温浴施設、宿泊・医療、飲食等都市型複合施設、料亭リニューアル、工房・市場複合施設等)が相次いでいる。
- 中心市街地地区では、新たな「まちづくり協議会」の設立や、空き地・空き店舗対策の勉強会など、住民のまちづくりへの意欲が高まっている。
- 文化観光交流施設の検討過程を通じ、市民等との積極的な意見交換等を行い、市民のまちづくりへの関心が高まっている。
- 旧ばるるプラザが閉館後、市民ホールとしてリニューアルしたことにより当該施設利用者は増加傾向にある。
- 中心市街地での市民参加型のイベント開催回数が増加し、市民等が訪れる機会づくりが進んでいる。
- 青森駅周辺地区の整備を契機に、市民が主体となった観光ボランティア組織が発足している。
- 新青森駅周辺整備の住民参加機会等を通じ、住民の地区のまちづくりへの関心が高まっている。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	調査結果に基づく指標の達成の状況等	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった
住民参加プロセス	文化観光交流施設整備への市民参加 新青森駅公共施設デザイン委員会の開催 まちなか散策コース(愛称「あもり街てく」)サイン整備に関する市民等の参加	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	更なるコースの魅力向上に向けた検討をしていく。
持続的なまちづくり体制の構築	ねぶた祭り関係者による(仮称)文化観光交流施設運営委員会の設置 まちなか散策コース(愛称「あもり街てく」)における、観光交流情報センターを拠点とした観光ボランティアガイドの育成	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	指定管理者とともに周辺施設との連携やねぶた祭関係者との協働を検討していく。 新規ガイドの育成と組織化に向けた検討をしていく。

様式2 - 2 地区の概要

新幹線新青森駅・青森駅周辺地区(青森県青森市) 都市再生整備計画の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：新幹線周辺地区と中心市街地との役割分担と連携強化による魅力的なまちづくり 目標1：港町あおもりの魅力再生と新たな魅力づくりによる中心市街地活性化 目標2：新幹線新青森駅と青森駅との連携強化と交通機能強化による利便性向上	中心市街地の歩行者通行量	人/日	59,090	H17	76,000	H22	62,000	H22
	観光レクリエーション客入込数	万人/年	510	H16	663	H22	663	H22
	新青森駅・青森駅の乗降客数	万人/年	620	H16	672	H22	672	H22
	青森駅周辺地区の年間主要観光施設入込客数	人/年	696,312	H17	-	-	780,000	H22
	新青森駅周辺地区住民の都市環境に関する満足度	%	27.7	H17	-	-	39.1	H22
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>基幹事業・高質空間形成施設 「新青森駅周辺地区案内板等」</p>  <p>「バリアフリー対応トイレ」</p>  </div> <div style="width: 55%; text-align: center;">  <p>凡例 ■ 計画区域 ■ 中心市街地 ■ 区画整理区域</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>基幹事業・高次都市施設 「文化観光交流施設(合築)」、 地域交流センター・観光交流センター</p>  <p>基幹事業・地域生活基盤施設 「青森駅東口駅前広場」</p>  </div> </div>	<p>まちなりの課題の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 青森駅周辺地区において、文化観光交流施設や市民ホールなど、観光客や市民による賑わい拠点を整備したほか、地区内を楽しみながら回遊できる散策コースサインの整備により、中心市街地内の魅力が高まった。 新青森駅(合築)と青森駅前広場内にそれぞれ観光情報センターを整備し、観光客等に対する魅力的な情報発信を行うほか、青森駅東口駅前広場のターミナル機能強化と周辺道路の一体的な整備により、公共交通利用者や来街者の安全性と利便性が高まった。 新青森駅周辺地区において、総合案内板やベンチ、バリアフリー対応トイレ等の整備により、新青森駅利用者の快適性と利便性が向上したほか、面的整備を促進するとともに駅前公園やモニュメントの整備により、青森らしさを強くイメージさせる印象的な景観形成がなされた。 今後、青森駅周辺地区では、中心市街地地区内での新たな賑わいの創出や、青森駅のバリアフリー性・アクセス性の向上、また、新青森駅周辺地区では区画整理区域内の土地利用の促進、更には、両地区を結び更なるアクセス性の向上が求められている。 	<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地地区内での新たな賑わいの創出に向け、回遊性・滞留性の向上、魅力的な都市空間の形成、街なか居住の推進、多様な都市機能ニーズへの対応を図っていく。 青森駅のバリアフリー性・アクセス性の向上を図るため、青森駅周辺のエントランス空間の再構築を図っていく。 新青森駅周辺地区の土地利用の促進に向け、区画整理区域内への事業所等の立地促進を図っていく。 市民や観光客が中心市街地に訪れやすくなるよう、両地区を結び公共交通によるアクセス性の充実を図っていく。 						